

第11回恵比寿映像祭、詳細プログラム決定版！



The Art of Transposition



トランスポジション

変わる術

平成31（2019）年2月8日（金）～2月24日（日） [15日間]

12日（火）、18日（月）休館／10時～20時、最終日18時まで／入場無料（定員制のプログラムは有料）

会場 | 東京都写真美術館／日仏会館／ザ・ガーデンルーム／

恵比寿ガーデンプレイス センター広場／地域連携各所 ほか

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

開催概要 |

恵比寿映像祭は、年に一度、恵比寿・東京都写真美術館や恵比寿ガーデンプレイス、地域文化施設を会場として行なわれる映像とアートの国際フェスティバルです。

このフェスティバルでは、「映像とは何か」を考えるため、年毎の総合テーマのもとに様々な時代やジャンルの映像を集め構成します。国内外のビデオアート、インスタレーション（空間展示）、劇映画、ドキュメンタリー、アニメーション、実験映像、体験型のメディアアート、ライブ・パフォーマンスなど、多彩な作品がジャンルの壁を越えて一堂に会するのは、世界的にみてもユニークな試みです。

なお恵比寿映像祭は、第11回目を迎え、この先の未来を見据えてポジティブに変わるテーマを掲げました。多様な作品から見出される「映像とは何か」を、関わり・参加する皆さんで考えてみたいと思います。

〔会期〕平成31（2019）年2月8日（金）～2月24日（日）〔15日間〕

12日（火）、18日（月）休館

〔時間〕10:00～20:00（最終日は18:00まで）

〔会場〕東京都写真美術館／日仏会館／ザ・ガーデンルーム／
恵比寿ガーデンプレイス センター広場／地域連携各所 ほか

〔料金〕入場無料 ※定員制のプログラムは有料

〔主催〕東京都／東京都写真美術館・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／
日本経済新聞社

〔共催〕サッポロ不動産開発株式会社／公益財団法人日仏会館

〔後援〕駐日フィリピン共和国大使館／オーストリア大使館 オーストリア文化フォーラム／
駐日韓国大使館 韓国文化院／在日スイス大使館／駐日ブラジル大使館／
ポーランド広報文化センター／**TBS**／J-WAVE 81.3FM

〔協賛〕**ANA**／サッポロビール株式会社／東京都写真美術館支援会員

〔協力〕アダム・ミツキエヴィチ・インスティテュート Culture.pl／ぴあ株式会社／
ドゥービー・カンパニー株式会社／株式会社ロボット

〔公式HP〕 www.yebizo.com

恵比寿映像祭のミッション |

恵比寿映像祭は、映像領域と芸術領域を横断するフェスティバルとして、2008年度（2009年2月）より開催され、今年で11年目を迎えます。文化都市東京・恵比寿から発信するフェスティバルとして、東京都写真美術館の全フロア、恵比寿ガーデンプレイスおよび地域に広がる文化施設と共に開催しています。

（なお、恵比寿映像祭は、Tokyo Tokyo FESTIVALの一環として開催いたします。）

この恵比寿映像祭は、5つの視点を持って実施しています。カッコのロゴが象徴するのは、カッコの中に入れて、皆で映像について考えてみよう！という姿勢です。

- 1 “一堂に会する” 映像祭
- 2 “芸術の側面から捉えなおす” 映像祭
- 3 “映像って何？ さまざまな作品から体験する” 映像祭
- 4 “担い手と鑑賞者が国と地域を越えて語りあう” 映像祭
- 5 “地域「恵比寿」とともに育ち、発信する” 映像祭



第11回恵比寿映像祭 トランスポジション 変わる術（すべ）

Yebisu International Festival for Art &
Alternative Visions 2019

The Art of Transposition

今いる位置から違うところへ移動すること、あるいは、すでにあるものや作法を異なるものに置き換えてみることをトランスポジションといいます。第11回目を数える恵比寿映像祭では、「トランスポジション」をキーワードに、多様な作品やプログラムをご紹介します。

視点の変化や編集の緩急、ひとつの主題を異なるメディアやメソッドで表現すること、あるいは前提となる文化や物理的な環境を変えることなど、多様なトランスポジションの妙によって、アートや映像表現の面白さは形作られます。さらに社会的立場や役割の交換、表現されたものを解釈し直すこともトランスポジションとするならば、多くの示唆に富んだ作品が含まれることになるでしょう。

有為転変は世の習いと云うように、時代や社会は常に動いていきます。トランスポジションは、既存の方法を否定し壊すことだとは限りません。これまでの常識やルールがうまく機能しないとき、意識的に異なる場所に立つことは、ひとつではない答えを模索し続ける術であるとともに、変わらないもの、換え難いあり方を見出すための問いでもあります。

第11回恵比寿映像祭では、アートと映像を介して様々なトランスポジションを味わうことを通じて、能動的なアクションと創造性について、作り手、送り手、そして受け手となる観客のみなさまとともに考えてみたいと思います。

恵比寿映像祭ディレクター 岡村恵子

参加作家およびゲスト一覧 |

26の国と地域から76名の作家およびゲストが参加いたします。

[平成30（2018）年12月20日時点]

	参加部門	参加作家およびゲスト		国・地域	
1	展示	レン・ライ	Len LYE	ニュージーランド	New Zealand
2	展示	ルイーズ・ボツカイ	Louise BOTKAY	ブラジル	Brazil
3	展示／ラウンジセッション	市原えつこ	ICHIHARA Etsuko	日本	Japan
4	展示／ラウンジトーク／シンポジウム	地主麻衣子	JINUSHI Maiko	日本	Japan
5	展示／ラウンジトーク／シンポジウム	岡田裕子	OKADA Hiroko	日本	Japan
6	展示	デヴィッド・オライリー	David OREILLY	アイルランド	Ireland
7	展示	ユニヴァーサル・エヴリシング	Universal Everything	イギリス	U.K.
8	展示	サシャ・ライヒシュタイン	Sascha REICHSTEIN	スイス/オーストリア	Switzerland/Austria
9	展示／ラウンジトーク	ヘ・シャンユ	HE Xiangyu	中国/ドイツ	China/Germany
10	展示／ラウンジトーク	カロリナ・ブレグワ	Karolina BREGUŁA	ポーランド	Poland
11	展示／上映／上映Q&A	牧野貴	MAKINO Takashi	日本	Japan
12	展示	黒川良一	KUROKAWA Ryoichi	日本/ドイツ	Japan/Germany
13	展示／ラウンジセッション	ミハイル・カリキス	Mikhail KARIKIS	ギリシア/イギリス	Greece/U.K.
14	上映	バスマ・アルシャリフ	Basma ALSHARIF	パレスチナ/ クウェート 他	Palestine/ Kuwait etc.
15	上映Q&A	田浪亜央江	TANAMI Aoe	日本	Japan
16	上映／上映Q&A／シンポジウム	草野なつか	KUSANO Natsuka	日本	Japan
17	上映	ミディ・ジー	Midi Z	ミャンマー/台湾	Myanmar/Taiwan
18	上映／上映Q&A	シリーン・セノ	Shireen SENO	フィリピン	Philippines
19	上映／上映Q&A／展示 ラウンジセッション	三宅唱	MIYAKE Sho	日本	Japan
20	上映Q&A	鈴木了二	SUZUKI Ryoji	日本	Japan
21	上映／上映Q&A	ウテ・アウランド	Ute AURAND	ドイツ	Germany
22	上映	ファブリジオ・テラノヴァ	Fabrizio TERRANOVA	イタリア	Italy
23	上映Q&A	高橋さきの	TAKAHASHI Sakino	日本	Japan
24	上映	ニカ・オウトア	Nika AUTOR	スロベニア	Slovenia
25	上映	ラザン・アルサラ	Razan ALSALAH	カナダ	Canada
26	上映	ジェシー・マクリーン	Jesse MCLEAN	アメリカ	U.S.A.
27	上映	リリー・レイノー＝ドゥヴァール	Lili REYNAUD-DEWAR	フランス	France
28	上映	タイキ・サクピシット	Taiki SAKPISIT	タイ	Thailand
29	上映	ジョン・トレス	John TORRES	フィリピン	Philippines
30	上映	アルバート・サムレス	Albert SAMRETH	カンボジア	Cambodia
31	上映	ボー・ワン	Bo WANG	中国	China
32	上映Q&A	ジハ・キム	Jiha KIM	韓国	Korea
33	上映	プリーヤラット・ ナウィールアンラット	Preeyarat Naweerueangrat	タイ	Thailand
34	上映	金眞直希	KANESHIN Naoki	日本	Japan
35	上映	キム・スンヒ	KIM Seung-hee	韓国	Korea
36	上映	平松悠	HIRAMATSU Haruka	日本	Japan
37	上映	チャン・クン・チョン	CHAN Kwun Chung	香港	Hong Kong
38	上映	チャン・シー・ワン	CHANG See Wan	香港	Hong Kong
39	上映	ワン・シー・イン	WONG Tsz Yin	香港	Hong Kong
40	上映	副島しのぶ	SOEJIMA Shinobu	日本	Japan
41	上映	森永大貴	MORINAGA Daiki	日本	Japan
42	上映	ジョン・ウー	ZHENG Wu	中国	China
43	上映	ファン・リーイン	HUANG Liying	中国	China
44	上映	ツェン・ジェーウォン	SHEN Jiawen	中国	China
45	上映	江口詩帆	EGUCHI Shiho	日本	Japan

参加作家およびゲスト一覧 |

	参加部門	参加作家およびゲスト		国・地域	
46	上映	石井栄太	ISHII Eita	日本	Japan
47	上映	ソムナット・パル	Somnath Pal	インド	India
48	上映	ブライアン・アルフィアンディ	Bryan Arfiandy	インドネシア	Indonesia
49	上映	ジェyson・キアントロ	Jason Kiantoro	インドネシア	Indonesia
50	上映／上映Q&A	見里朝希	MISATO Tomoki	日本	Japan
51	上映／上映Q&A	今津良樹	IMAZU Yoshiki	日本	Japan
52	上映Q&A	山田亜樹	YAMADA Aki	日本	Japan
53	上映	大野松雄	OHNO Matsuo	日本	Japan
54	上映	3RENSA/Merzbow	3RENSA/Merzbow	日本	Japan
55	上映	3RENSA/duenn	3RENSA/duenn	日本	Japan
56	上映	3RENSA/Nyantora	3RENSA/Nyantora	日本	Japan
57	上映	金村修	KANEMURA Osamu	日本	Japan
58	上映	バスター・キートン	Buster KEATON	アメリカ	U.S.A.
59	上映	土肥悦子	DOHI Etsuko	日本	Japan
60	オフサイト展示／ラウンジトーク	さわひらき	SAWA Hiraki	日本	Japan
61	ライブ・イベント	曽我大穂	SOGA Daiho	日本	Japan
62	ライブ・イベント	小金沢健人	KOGANEZAWA Takehito	日本	Japan
63	ライブ・イベント	スズキタカユキ	SUZUKI Takayuki	日本	Japan
64	シンポジウム	港千尋	MINATO Chihiro	日本	Japan
65	シンポジウム	東志保	AZUMA Shiho	日本	Japan
66	シンポジウム	篠田勝英	SHINODA Katsuhide	日本	Japan
67	ラウンジトーク	木ノ下智恵子	KINOSHITA Chieko	日本	Japan
68	ラウンジトーク	馬場隆子	BABA Takako	日本	Japan
69	ラウンジトーク	佐藤慶子	SATO Keiko	日本	Japan
70	ラウンジセッション	片岡真実	KATAOKA Mami	日本	Japan
71	ラウンジセッション	阿部一直	ABE Kazunao	日本	Japan
72	地域発信プロジェクト	前田真二郎	MAEDA Shinjiro	日本	Japan
73	地域発信プロジェクト	津田広志	TSUDA Hiroshi	日本	Japan
74	地域発信プロジェクト	アンドリュー・マークル	Andrew MAERKLE	香港	Hong Kong
75	地域発信プロジェクト	桂英史	KATSURA Eishi	日本	Japan
76	地域発信プロジェクト	諏訪敦彦	SUWA Nobuhiro	日本	Japan

「トランスポジション」の見どころ |

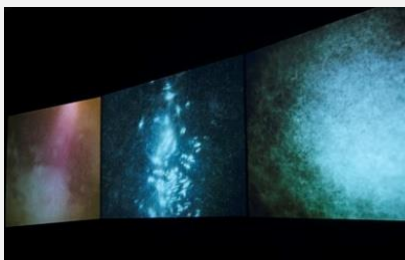
1 メディアや制作方法のトランスポジション

視点の転換や、編集の緩急、ひとつの主題を異なるメディアやメソッドに置き換えることなど、映像作品において試みられている、豊かな表現上の工夫としてのトランスポジションに注目。

- レン・ライ | 初期カラー現像技法を用いて独創的な方法で生き生きとした躍動感を生み出している実験的カラー映画《レインボー・ダンス》1936 [1]
- 牧野貴 | 異なる尺の3つの映像と音をそれぞれループ再生しながら、ゆっくりと左右のプロジェクター位置をずらし続けることで、常に新しい映像を見る者の眼前で生成させる。《Endless Cinema》2017 [2]
- 草野なつか | 俳優の身体が、同じシーンを様々に演じ直しながら演出によって変わっていくさまを、ストーリーを展開させながら丁寧に捉える。《王国（あるいはその家について）》（150分版）2017-2018 [3]



1



2



3

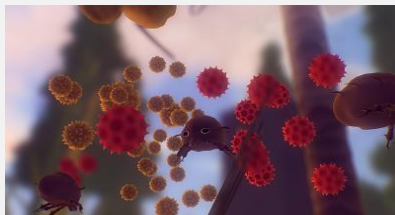
2 時空や視点のトランスポジション

こどもたちの目には、見慣れた風景がどう見えているだろう？ いつもと違う旅をすること、過去や未来を思うこと、違う立場から世界をみること。想像し、動き、視点を換えてみることの可能性を探ります。

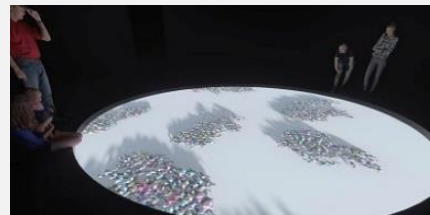
- ミハイル・カリキス | 大人たちが作り出す世界の矛盾を鋭くみつめ、異論をとなえるこどもたち。《とくべつな抗議活動》2018 [4]
- デヴィッド・オリリー | 決められた物語や結末が存在しないビデオ・ゲームを通じて、プレイヤーは粘菌などのマイクロなレベルから銀河系などのマクロなものに成り変わり、それらの視点から森羅万象の世界を眺めることができる。《エヴリシング》2017 [5]
- ユニヴァーサル・エヴリシング | 一定の条件下で、群集の動きが、どのように変化するかをシミュレートした映像。その姿を統計上の数値のように捉えるか、状況に翻弄されて右往左往する自分たちと重ねるかで見え方は大きく変わる。《トライプス》2018 [6]



4



5

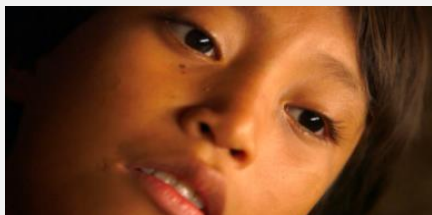


6

3 異文化間のトランスポジション

前提となる文化や物理的な環境を換えるだけで、物の見え方、感じ方は大きく変わる。異文化間の交錯による創造性のかたちを見つめていきます。

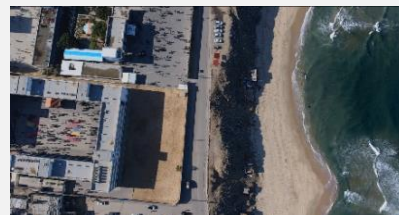
- ルイズ・ボツカイ | アマゾンの奥地で伝統的な生活を守り暮らししている先住民女性たちとの交流を追うなかで、当たり前になっていた現代の価値観が見つめ返される。《エフアナへの映画》2018 [7]
- サシャ・ライヒシュタイン | 19世紀半ば、当時英国領だった南インド各地で集められた手織物デザインのサンプル集。その頁をめくりながら、征服する者とされる者との間で往還した織物産業の歴史が、脱植民地主義的な視点から紐解かれる。《征服者の図案》2017 [8]
- バスマ・アルシャリフ | ガザから始まる実験的な劇映画。異なる場所を旅する一人の男が、繰り返し体験する別れの痛みが、長い歴史のなかで繰り返された破壊や忘却、再生が刻まれたそれぞれの場所の風景と重ねあわされる。《ウロボロス》2017 [9]



7



8



9

4 身体観や世界観のトランスポジション

すでに始まっている未来。技術の発達や社会の変化が、個人や社会のあり方にもたらす変化について考えます。

- 市原えつこ | 魔術や信仰、科学やテクノロジーは一見相反するもののように見えて親和性が高いと考える市原は、現代の巫女のごとく、人間と機械の新しい関係を構築している。《デジタルシャーマン・プロジェクト》2015- [10]
- 岡田裕子 | 再生医療をテーマに、先端技術が描く未来と人間の関係性の変質について問いかける。《エンゲージド・ボディ》(新作) 2019 [11]
- ファブリジォ・テラノヴァ | 1980年代からフェミニズムや科学技術論を展開してきた科学史家ダナ・ハラウェイの新著と並行して製作された共同創作ドキュメンタリー。現代最も重要な学者のひとりと言われている彼女の最新到達地点を監督とともに豊かに物語る。《生き延びるための物語り》2016 [12]



10



11



12

5 新作展示、プレミア上映など必見の作品が多数

オフサイト展示では、心象風景や記憶の感覚を独自の世界観で実現させるさわひらきが、恵比寿ガーデンプレイス センター広場に「サーカス」や「見世物小屋」をイメージした円形空間を創り出します。また、世界各国で活躍著しい作家の新作など、恵比寿映像祭ならではの作品が勢ぞろいいたします。

- 展示新作 | 岡田裕子《エンゲージド・ボディ》(新作) 2019、地主麻衣子《わたしはあなたの一部じゃない》(新作) 2019
- オフサイト展示新作 | さわひらき《platter》(新作) 2019 [13]
- ワールドプレミア | 三宅唱《無言日記2018》2019 [14]
- アジアプレミア | 草野なつか《王国(あるいはその家について)》(150分版) 2017-2018
- ジャパンプレミア | ミディ・ジー《14個のりんご》2018 [15]、牧野貴《Memento Stella》2018、「ダナ・ハラウェイ——生き延びるための物語り」よりノファブリジォ・テラノヴァ《生き延びるための物語り》2016 他



13



14



15

6 赤ちゃんからアート初心者まで、アートや映像の魅力をさまざまな人に届けたい

赤ちゃんから大人まで。アート好きから初心者まで。やさしい日本語や英語、手話で。いろいろな人にアートや映像の魅力をお届けいたします。

- 赤ちゃんも参加できる上映会《キートンの探偵学入門》| 乳幼児から参加可能で、作品に関わることであればおしゃべりしてもよい上映会。[16]
- こども映画教室シネクラブ@恵比寿映像祭2019 | 小学生を対象に《キートンの探偵学入門》の対話型鑑賞ワークショップを実施。
- やさしい日本語で巡るガイドツアー [90分/日本語/英語要約あり] ガイドツアーより | やさしい日本語を使って、ガイドするツアー。子どもから大人までのアート・エデュケーションの場に携わるナビゲーターと共に会場を巡ります。外国にルーツを持つ方々やこどもたち、アート初心者の方々など、関心のある方はどなたでも参加できます。その他に手話付きのガイドツアーもございます。[17]
- YEBISU大学 市民課~映像のシティズンシップカフェ ー地域連携企画YEBIZO MEETSより | 映像や社会をもっと自分ごととするための講座。[18]
- フェスティヴァルを自分の言葉で伝えよう、書くヒントを見つける90分 ー地域連携企画YEBIZO MEETSより | アートについて、自分の言葉で発信することにはチャレンジしたい方へお勧めです。
- 地域連携企画 YEBIZO MEETS | 東京・恵比寿のエリアの文化組織と企画を発信。それぞれの施設や企画を巡るスタンプラリーも行なっています。



16



17



18



レン・ライ Len LYE

《レインボー・ダンス》1936 [フィルムフレーム拡大像、図版蔵
: Ngā Taonga Sound & Vision]

Courtesy Len Lye Foundation and the British Postal Museum and Archive

パイオニアの実験映画作家レン・ライは、モノクロからカラー映像へ変遷する時期に、当時の先端の技術に呼応しながら独自の創造性を生み出した。



ルーズ・ボツカイ Louise BOTKAY

《エフアナへの映画》2018/シングルチャンネル・ビデオ/作家蔵

温かく対象を愛しむボツカイの視線がとらえたヤノマミ族の母子たちの美しさは、忙しい都市生活の有り様を対照的に照らし出す。



市原えつこ ICHIHARA Etsuko 【SESSION】

《デジタルシャーマン・プロジェクト》2015-/インスタレーション/作家蔵 [参考図版]

Photo: Masashi Kuroha

亡くなった人が、家庭用ロボットに憑依し、死後四十九日が来るまでの間、家族とともに時を過ごすことができる《デジタルシャーマン・プロジェクト》。人間と機械の新しい関係を構築する試み。



地主麻衣子 JINUSHI Maiko 【TALK】 【SYMPOSIUM】

《わたしはあなたの一部じゃない》(新作) 2019/インスタレーション/作家蔵

©Maiko Jinushi Courtesy of HAGIWARA PROJECTS

地主麻衣子は、恵比寿映像祭のための新作を発表予定。何気ない働きかけを入り口に、自己と他者、個人と社会との間に生まれる磁場のような影響関係についての考察を映像化する。



岡田裕子 OKADA Hiroko 【TALK】 【SYMPOSIUM】

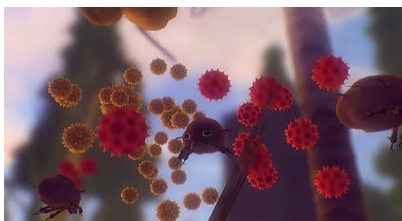
《エンゲージド・ボディ》(新作) 2019/インスタレーション/作家蔵 [初期イメージドローイング]

独特のユーモアを交えながら鋭く現代社会を見据える岡田裕子の最新プロジェクトを発表。再生医療の発達が人間観や人と人との関係性にもたらす変化について考察する。

【TALK】 作家によるラウンジトークあり | 【SESSION】 作家によるラウンジセッションあり

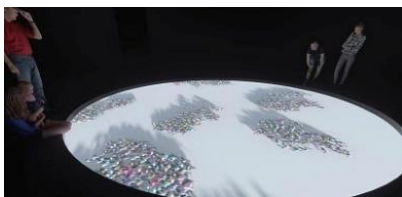
【SCREENING】 関連上映あり | 【SYMPOSIUM】 関連シンポジウムあり

展示 | 東京都写真美術館 3F・2F・B1F展示室



デヴィッド・オリリー David O'REILLY
《エヴリシング》2017/ビデオ・ゲーム
©David O'Reilly

3DCGによる表現の可能性を独自に掘り下げてきたオリリー。
《エヴリシング》は、微生物の視点から銀河の彼方まで、ヴァーチャルな世界の森羅万象を自由にたどる「環世界的」ゲーム。



ユニヴァーサル・エヴリシング Universal Everything
《トライブス》2018/インスタレーション/作家蔵 [展示スケッチ]

世界各地で大規模なプロジェクトを手がけている人気クリエイティブ・ユニット。集団の行動パターンをシミュレーションした映像による最新インスタレーションを発表。



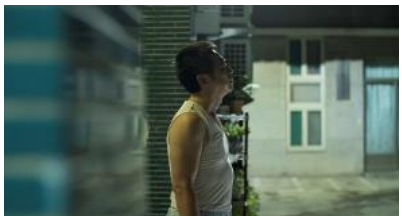
サシャ・ライヒシュタイン Sascha REICHSTEIN
《征服者の図案》2017/シングルチャンネル・ビデオ/作家蔵

高精細な映像が伝えるインドの名もない人々の手わざの妙。美術家ライヒシュタインによる、アーカイヴ資料をポスト植民地主義的な視点から読み解く試み。



ヘ・シャンユ HE Xiangyu **[TALK]**
《Evidence》2017/インスタレーション/作家蔵 [参考図版]
© He Xiangyu Courtesy of White Cube Photo: © Ollie Hammick

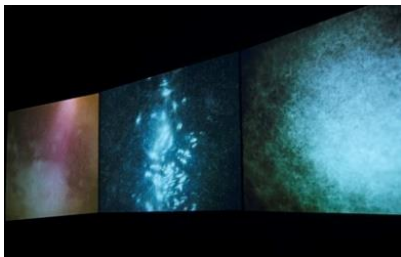
北朝鮮と中国の国境に位置する場所で生まれた作家が、歴史的事実が作りだしたイメージ、現実や風景の痕跡を再構築する。



カロリナ・ブレグワ Karolina BREGUŁA **[TALK]**
《広場》2018/9チャンネルビデオ・インスタレーション/作家蔵

ポーランド出身のブレグワは、長年温めていた物語を、台湾で現地の人々の協力のもと映像化。9面のスクリーンの間を観客が物理的に移動しながら鑑賞するインスタレーションとして発表する。

展示 | 東京都写真美術館 3F・2F・B1F展示室



牧野貴 MAKINO Takashi 【SCREENING】

《Endless Cinema》2017/3チャンネル・ビデオ [東京都庭園美術館における展示]

©Takashi Makino

独自の映像言語で、世界各地にファンを持つ、日本を代表する抽象映像作家。大規模映像インスタレーション、4K新作映画上映とともに、初期コラージュ作品も初公開。



黒川良一 KUROKAWA Ryoichi

《ad/ab Atom》2017/オーディオヴィジュアル・インスタレーション/作家蔵 [参考図版]

Installation view at Scale travels, GNRation, Braga, Portugal

© Ryoichi Kurokawa Commissioned by GNRation

Photo: Hugo Sousa (GNRation)

人間では感知出来ないナノテクノロジーを視覚化したインスタレーション。原子スケールの空間へ旅するように、視聴覚的体験が生み出されていく。



ミハイル・カリキス Mikhail KARIKIS 【SESSION】

《とくべつな抗議活動》2018/シングルチャンネル・ビデオ/作家蔵

コミッショナー：Whitechapel Gallery, FVU, MIMA

国際的に活躍するアーティスト、ミハイル・カリキスの作品が待望の登場。観る者の感覚に訴える、迫力ある映像と音によって、批評的な視点を提示する。



Film Still, 2017, Courtesy of the Artist and Galerie Imane Farès.

【Q&A】

1 ウロボロス——ガザから始まる実験的トラベログ 【JP】

■バスマ・アルシャリフ《ウロボロス》2017/77分/英語、チヌーク語、イタリア語（英語・日本語字幕付）

Produced by: Momento!, IDA.IDA, Idioms film, Luna Blue Film, the Doha Film Institute and Galerie Imane Farès

ある男が別れの痛みを異なる場所で繰り返し体験する。男の痛みは傷ついたガザと重なるが、舞台となる他の地域もまた、歴史のなかで繰り返された破壊や忘却、再生を、風景の中に刻んでいる。



【Q&A】 【SYMPOSIUM】

2 演出と俳優、その身体——草野なつか

《王国（あるいはその家について）》（150分版） 【AP】

■草野なつか《王国（あるいはその家について）》（150分版）
2017-2018/150分/日本語（英語字幕付）

長編デビュー作品《螺旋銀河》で高い評価と注目を集めた草野なつかの最新作。俳優が役を獲得する過程の身体の変化を捉えながら、ストーリーを展開させる。



3 いつか合う視線——ミディ・ジー《14個のりんご》 【JP】

ミディ・ジー《14個のりんご》2018/84分/ビルマ語（日本語・英語字幕付）

世界的に注目される新鋭映画監督ミディ・ジー。初期より創作を共にするシンホンが、不眠症に悩み、2週間寺院で僧侶として過ごす経験を追う。



©Los Otros Films

【Q&A】

4 ナーヴァス・トランスレーション

——革命後夜の、個人的な社会のなし。

シリーン・セノ《ナーヴァス・トランスレーション》2018/90分/フィリピン語（日本語・英語字幕付）

世界各地の映画祭で高く評価されているフィリピン期待の女性監督シリーン・セノの最新長編映画。1987年マニラの政情不安を背景に、多感な8歳の少女の視線を多彩に表現する。

【JP】 ジャパンプレミア | 【AP】 アジアプレミア | 【WP】 ワールドプレミア

【Q&A】 Q&A付き上映回あり | 【SESSION】 作家によるラウンジセッションあり | 【SYMPOSIUM】 関連シンポジウムあり



【Q&A】 【SESSION】

5 映画が生まれるとき——三宅唱《ワイルドツアー》

■ 三宅唱《ワイルドツアー》2018／67分／日本語（英語字幕付）
©Yamaguchi Center for Arts and Media [YCAM]

《ワイルドツアー》は、近年活躍著しい映画監督、三宅唱の最新作。山口県山口市で採取した植物からDNAを抽出し図鑑を作成するワークショップで出会った学生たちの、旅のはじまりと冒険を描いた青春遠足映画。

6 三宅唱《ワイルドツアー》《無言日記2018》【WP】

■ 《ワイルドツアー》2018／67分／日本語（英語字幕付）
©Yamaguchi Center for Arts and Media [YCAM]
□ 《無言日記2018》2019／60分〔予定〕
企画：樋口泰人（boid）

ゲスト：三宅唱（監督）／鈴木了二（建築家）

会期最終日に映画《ワイルドツアー》と《無言日記2018》を上映。上映後に作家とゲストによるトークを行なう。

※《無言日記2018》のみワールドプレミア



【Q&A】

7 ウテ・アウラント特集

——フィルムという日常の運動【16ミリフィルム上映】

- 《リサ》2017／4分30秒
- 《サクラ、サクラ》2015／2分30秒
- 《マリア》2011／3分
- 《フィリップの60才の誕生日》2014／5分
- 《4つのダイヤモンド》2016／4分30秒
- 《家で》1998／2分30秒
- 《あやとりI》[ディーテル・アウラントとの共作] 1999／8分
- 《あやとりII》[ディーテル・アウラントとの共作] 2003／10分
- 《あやとりIII》[ディーテル・アウラントとの共作] 2013／10分
- 《冬の蝶》[マリア・ラングとの共作] 2006／29分／ドイツ語（英語字幕付）

1980年から日常のささやかな風景や身近な人物にカメラを向け16ミリフィルムで作品を制作し続けているアウラント。空間や時間のダイナミズムに観る者を誘うアウラント世界を一挙上映。



【Q&A】

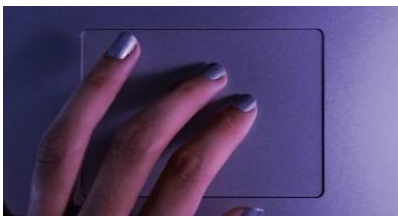


Image copyrights of Jesse McLean.
Courtesy of Video Data Bank,
www.vdb.org, School of the Art
Institute of Chicago.

8 ダナ・ハラウェイ——生き延びるための物語り【JP】

■ファブリジオ・テラノヴァ 《生き延びるための物語り》2016／82分／英語（日本語字幕付）

1980年代からフェミニズムや科学技術論を展開してきた科学史家ダナ・ハラウェイの新著と並行して製作された共同創作としてのドキュメンタリー。現代最も重要な学者のひとりと言われている彼女の最新到達地点を監督とともに豊かに物語る。

9 越境についての四編【JP】

□ニカ・オウトア 《ニューズリール63 影の列車》2017／38分／スロヴェニア語（英語・日本語字幕付）

□ラザン・アルサラ 《お父さんはナクバと同じ100歳で生まれた》2017／7分／アラビア語（英語・日本語字幕付）

■ジェシー・マクリン 《あなたが行くところどこにでも》2017／12分／英語（日本語字幕付）

□リリー・レイノー＝ドゥヴァール 《歯、ガム、機械、未来、社会》2016／36分

近年現代美術や実験映画として発表された注目すべき4本の作品を紹介。地理的な別の領域への移動、または別のあり方への越境の試みを映し出す。越境の営みに、幾層もの物語が織り込まれている。



【Q&A】

10 ACCシネマ・ファンド特集 ——リ=ヴィジヨナリー・フレーム【JP】

■タイキ・サクピシット 《影と行為》2019／23分／タイ語（日本語・英語字幕付）

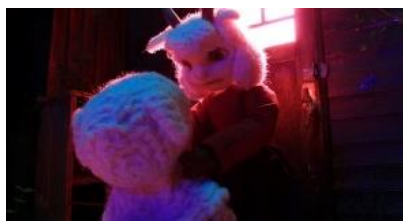
□ジョン・トレス 《私たちはまだ目を閉じなければならない》2019／15分／フィリピン語（日本語・英語字幕付）

□アルバート・サムレス 《地上の一光年》2019／20分／カンボジア語・英語（日本語・英語字幕付）

□ボー・ワン 《瓦礫や葉っぱの音がやむ》2019／20分

【リンク：国立アジア文化殿堂／ゲスト・プログラマー：ジハ・キム】

2015年に韓国・光州市にオープンした国立アジア文化殿堂（ACC）。ACCシネマ・ファンドが依頼したアジアの映像作家による、既存の映画の形式を超えた実験的で新たな映像作品から、上映用に選ばれた短編映像を日本初紹介する。



【Q&A】

11 トランスポジションのアニメーション——DigiCon6 ASIA

- ブリーヤラット・ナウィールアンラット《ワイルドライフ・イズ・カラフル》2018／3分3秒
- 金眞直希《ゴリラ進化論》2018／7分10秒
- キム・スンヒ《ザ・レルム・オブ・ディーペスト・ノウイング》2018／7分
- 平松悠《毎日踊りたいことだらけ》2018／2分22秒
- チャン・クン・チョン、チャン・シー・ワン、ワン・シー・イン《キンズ・ヘアー》2018／5分50秒／中国語（日本語字幕付）
- 副島しのぶ《ケアンの首達》2018／7分8秒
- 森永大貴《あかばしは落ちた》2018／8分32秒／日本語（英語字幕付）
- ジョン・ウー、ファン・リーイン、ツェン・ジェーウォン《ハンドレッド・マイルズ・レッド》2018／7分25秒
- 江口詩帆、石井栄太《イン・ザ・ケージ》2018／10分9秒
- ソムナット・パル《デス・オブ・ア・ファーザー》2018／9分／英語（日本語字幕付）
- ブライアン・アルフィアンディ、ジェイソン・キアントロ《ライフ・オブ・デス》2018／5分23秒／英語（日本語字幕付）
- 見里朝希《マイリトルゴート》2018／10分13秒／日本語（英語字幕付）
- 今津良樹《モフモフィクション》2018／6分40秒／日本語（英語字幕付）

【リンク：DigiCon6 ASIA／ゲスト・プログラマー：山田亜樹】

今年で20回を迎えたDigiCon6 ASIA（TBS主催）。アジア12の国と地域から、次世代を担う映像クリエイターたちの13作品のショートムービーをお楽しみください。



Courtesy of the Artist and Empty Gallery, Hong Kong ©Takashi Makino, Empty Gallery

【Q&A】

12 牧野貴4K最新作《Memento Stella》 +スペシャルトーク【JP】

■牧野貴《Memento Stella》2018／60分／4K

ゲスト：牧野貴（アーティスト）

2017年より、牧野貴が様々な形で発表してきたプロジェクト「Memento Stella」の最終形となる4K長編版に、オランダの音楽家レイニア・ファン・ハウトが音をつけた最新作のプレミア上映。スペシャルトーク付き。

【JP】ジャパンプレミア | 【AP】アジアプレミア | 【WP】ワールドプレミア

【Q&A】Q&A付き上映回あり | 【SESSION】作家によるラウンジセッションあり | 【SYMPOSIUM】関連シンポジウムあり



【スペシャル上映】

13 Hardcore Ambience企画「Another World」：
大野松雄《タージ・マハル旅行団「旅」について》
+スペシャルライブ

第1部

■大野松雄監督《タージ・マハル旅行団「旅」について》[オリジナル色調整版デジタル] 1972/103分/日本語

第2部

□ライブ&トーク

出演：大野松雄（音響デザイナー）/3RENSA（Merzbow、duenn、Nyantora、映像：金村修）（バンド）

テレビ・アニメ《鉄腕アトム》の音楽の生みの親として知られる伝説的な音響デザイナー大野松雄、エクスペリメンタルユニット3RENSA、写真家金村修の新作映像とともに究極の視聴覚体験のトランスポジションとなる、スペシャル上映とライブ。



【スペシャル上映】

14 赤ちゃんも参加できる上映会《キートンの探偵学入門》

バスター・キートン《キートンの探偵学入門》1924/45分/英語
（日本語字幕付）/サウンド版

乳幼児から参加可能で、作品に関わることであればおしゃべりしてもよい上映会。探偵修行中でもある映写技師のキートンが、映写中に眠りに落ちて映画の世界に入っていく、名探偵として大活躍！

- ・席が必要な場合はチケットが必要です。保護者1名につき1名まで膝上無料。詳細は「定員制プログラムのチケット情報」欄をご覧ください。
- ・上映中のおしゃべりや、やむをえず出入りがございますことをご理解願います。



【上映関連企画・小学生向けワークショップ】

15 こども映画教室シネクラブ@恵比寿映像祭2019

バスター・キートン《キートンの探偵学入門》1924/45分/英語
（日本語字幕付）/サウンド版

スペシャル上映《キートンの探偵学入門》を鑑賞後に、対話型鑑賞ワークショップを実施します。チームごとに映画について語り、1シーンを再現し撮影！上映会も行います。

- ・参加方法：事前申込制、有料（上映プログラム14のチケット代込み）
- ・対象および定員：小学1～6年生、15名
- ・申込方法：「定員制プログラムのチケット情報」欄をご参照ください。

オフサイト展示 | 恵比寿ガーデンプレイス センター広場



さわひらき《absent》2018 [参考図版]

さわひらき《platter》

現実にはありえない光景を描きながら見る者の想像力に働きかけ、世界各地で活躍する、さわひらき。総合テーマから「サーカス」や「見世物小屋」をイメージし、センター広場に一つの大きな円形空間（platter）の新作インスタレーションを創出する。

展示 | 日仏会館ギャラリー



三宅唱+YCAM《ワールドツアー》

日仏会館ギャラリーでは、近年活躍著しい新鋭映画監督、三宅唱が山口情報芸術センター[YCAM]とともに手がけた初の映像インスタレーションを、その原点となる「無言日記」シリーズとともに、恵比寿映像祭のために再構築する。

三宅唱+YCAM《ワールドツアー》2018/6チャンネル・ビデオ・インスタレーション/60分（ループ上映）[参考図版]
共同開発：YCAM InterLab | 制作：山口情報芸術センター[YCAM]
Courtesy of Yamaguchi Center for Arts and Media [YCAM]
Photo: Atsushi Tanabe

ライブ・イベント | ザ・ガーデンルーム



C・D.

曾我大穂×小金沢健人 special guest スズキタカユキ
ライブ・パフォーマンス「映像を追いかけて——
音とイメージの夢幻サーカス」

日時：平成31年2月22日（金）18:30-20:30（開場18:00）
／2月23日（土）17:30-19:30（開場17:00）
会場：ザ・ガーデンルーム
出演：曾我大穂（音楽家）、小金沢健人（映像アーティスト）、スズキタカユキ（服飾家）

曾我大穂、スズキタカユキ（「仕立て屋のサーカス」公演より）
撮影：三田村亮

ザ・ガーデンルームでは、2日間にわたり、音と映像と布が、見たことのない時空間を即興的に織り成す特別なライブ・パフォーマンスを行います。

シンポジウム | 東京都写真美術館 1Fホール



デヴィッド・オライリー 《おねがい なにかいって》2009 [参考図版]
©David O'Reilly

A. トランスポジションという術をめぐる

日時：平成31年2月10日（日）13:00-16:00

会場：東京都写真美術館1Fホール

パネリスト：岡田裕子（展示出品作家）／地主麻衣子（展示出品作家）／草野なつか（上映出品作家）

モデレーター：岡村恵子（恵比寿映像祭ディレクター、東京都写真美術館学芸員）

総合テーマを深掘りするシンポジウムを1Fホールで開催。新たな創造性を導きだす、「変わる術」としてのトランスポジションについて語り合います。

シンポジウム | 日仏会館ホール



クリス・マルケル「パッセンジャー」シリーズより、《無題# 2》2011
[参考図版]

Courtesy of the Chris Marker Estate
and Peter Blum Gallery, New York

B. [日仏会館共催企画] クリス・マルケルのトランスポジション

日時：平成31年2月14日（木）18:00-20:00

会場：日仏会館1Fホール

パネリスト：港千尋（多摩美術大学教授、写真家）／東志保（大阪大学大学院文学研究科助教）

モデレーター：岡村恵子（恵比寿映像祭ディレクター、東京都写真美術館学芸員）

司会：篠田勝英（白百合女子大学教授、日仏会館文化事業委員長）

日仏会館との共催により、フランスの著名な写真家・映像作家、クリス・マルケルをめぐる、その先見性から現代を読み解くシンポジウムを開催します。

ラウンジトーク&セッション | 東京都写真美術館 2Fロビー

2Fロビーのオープンなラウンジ会場では、出品作家やゲストを迎え、ライブ・セッションやカジュアルなトークを行ない、フェスティバルの楽しさを広げます。

ラウンジトーク

a. さわひらき（オフサイト展示出品作家）／木ノ下智恵子（キュレーター） | 2.8（金）15:00-16:00

b. カロリナ・ブレグワ（展示出品作家） | 2.9（土）17:15-18:15

c. ヘ・シャンユ（展示出品作家） | 2.11（月・祝）13:30-14:30

d. 地主麻衣子（展示出品作家） | 2.16（土）13:30-14:30

e. [地域連携プログラム Gallery工房 親+MuCuL] トランスポジション／恵比寿馬場隆子（Gallery工房 親主宰）／佐藤慶子（作曲家、MuCuL代表） | 2.19（火）17:15-18:15

f. 岡田裕子（展示出品作家） | 2.24（日）13:30-14:30

ラウンジセッション

g. ミハイル・カリキス パフォーマンス&トーク

ゲスト：ミハイル・カリキス（展示出品作家）／
片岡真実（森美術館副館長兼チーフ・キュレーター）

2.9（土）13:30-15:00 * 日英逐次通訳付

—
カリキスの創作の源泉のひとつである声楽のパフォーマンスのほか、同時期に開催する森美術館 MAMスクリーンの作品についてのキュレーターを交えたトークも。カリキスの作品について深く紐解きます。

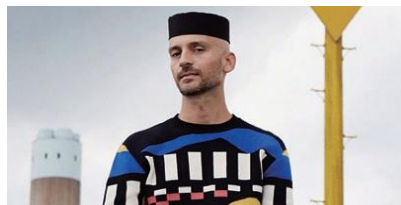


Photo: Felicity Crawshaw

h. 市原えつこ パフォーマンス&トーク

ゲスト：市原えつこ（展示出品作家）

2.10（日）17:15-18:15

—
亡くなった人物をロボットによって結びつけ、過去から未来へ召還する《デジタルシャーマン・プロジェクト》をはじめ、現代のメディアテクノロジーをユーモラスに横断する市原えつこの世界にせまります。



i. 三宅唱×阿部一直 トーク

ゲスト：三宅唱（展示・上映出品作家）／
阿部一直（キュレーター）

2.17（日）17:15-18:15

—
三宅唱がはじめて取り組み、山口情報芸術センター [YCAM] で完成したインスタレーション《ワールドツアー》を中心に、映画と空間の関係について、キュレーター阿部一直を迎えて掘り下げていきます。



Courtesy of Yamaguchi Center for Arts and Media [YCAM]
Photo: Atsushi Tanabe

YEBIZO MEETS 地域発信プロジェクト |

I YEBISU大学 市民課～映像のシティズンシップカフェ

日時：平成31年2月14日（木）15:00-17:00
会場：YEBISU GARDEN CAFE（エビスガーデンカフェ）
東京都目黒区三田4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー3F
講師：前田真二郎（映像作家・情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 教授）
モデレーター：津田広志（編集者）
入場：無料
TEL：03-5424-1333

II フェスティヴァルを自分の言葉で伝えよう、書くヒントを見つける90分

日時：平成31年2月23日（土）14:00-15:30（作品鑑賞時間を含む）
会場：東京都写真美術館1Fスタジオ・東京都写真美術館展示室
東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
講師：アンドリュー・マークル（ライター／編集者）
入場：無料
定員：15名（整理券配布）
※整理券は、実施日の午前10時から東京都写真美術館1F総合受付にて配布します。
※開始時間の5分前までに1Fスタジオに集合。
※テキストの添削は行いません。
TEL：03-3280-0099 | www.topmuseum.jp

III 東京藝術大学大学院映像研究科 geidaiRAM2 連携企画 ポストドキュメンタリーをめぐって 桂英史（メディア研究）×諏訪敦彦（映画監督）

日時：平成31年2月15日（金）18:00-20:00
会場：東京都写真美術館1Fスタジオ
東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
講師：桂英史（メディア論研究者、東京藝術大学大学院映像研究科教授）
×諏訪敦彦（映画監督、東京藝術大学大学院映像研究科教授）
入場：無料
定員：60名（エリア内での立見可）
TEL：03-3280-0099 | www.topmuseum.jp

IV YEBIZO MEETS交流サロン～みんなでアートや映像について語ろう！

日時：平成31年2月15日（金）19:00-22:00
会場：GREENBOWL（グリーンボウル）
東京都目黒区三田1-12-24 MT3ビル1F
参加費：1,000円（1ドリンク、1フード＝ラップグリーン（サラダのトルティーヤ巻き）が含まれます。）
TEL：03-6412-8883 | www.greenbowl.co.jp

YEBIZO MEETS 地域連携プログラム | 恵比寿地域文化施設およびギャラリーなど



公益財団法人日仏会館 | TMF日仏メディア交流協会
映像と講演「映画と文学III 《田舎司祭の日記》
——ロベール・ブレッソンと映像による翻案」



YEBISU GARDEN CINEMA
天才作家の妻 —40年目の真実—



伊東建築塾
TOMORROW パーマネントライフを探して

MA2 Gallery

MA2 Gallery
松原健個展「Winter Steps」



CAGE GALLERY
凍りつく窓：生活と芸術



Gallery 工房 親
アウェー：安西剛展



MuCuL
水の位相 四人展

NADiff a/p/a/r/t

NADiff a/p/a/r/t
市川孝典展



スクールデレック芸術社会学研究所
ケネス・アンガー「アイコンニック・メモリ展」

MEM

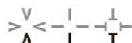
MEM
有吉達宏展「to elephant time」

Galerie
LIBRAIRIE 6

Galerie LIBRAIRIE 6
書物のみる夢



AL | TRAUMARIS
The Grateful (to) Dead——うつゆみこ 南風食堂 田中麻記子



特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]
AIT ARTIST TALK
——オランダよりアーティストのシャルロット・マーカスを迎えて

定員制プログラムのチケット情報 |

当日券

定員制プログラムの当日券は、各日午前10時より先着順で販売します（上映／シンポジウム／ライブ・イベントは東京都写真美術館1F総合受付、日仏会館シンポジウムは日仏会館1Fホール受付にて）。

前売券

前売券はチケットぴあで販売しています。 | **一般発売：平成31年1月5日（土）午前10時**

※各プログラムの日時は、開催チラシ、公式ウェブサイトのタイムテーブルをご確認ください。

※前売券は、各プログラム開催前日の正午まで販売します。

※未就学児の入場はご遠慮ください（上映プログラム14は除く）。

前売券（チケットぴあ）購入方法

1) インターネット：〈<http://w.pia.jp/t/yebizo>〉 ※PC・モバイル共通

2) 電話予約：0570-02-9999 〈<http://t.pia.jp/guide/orderbyphone.jsp>〉

3) お近くの店頭直接申込み：〈チケットぴあ、セブン-イレブン〉

※（2）および（3）の方法でご購入の際には、6ケタのPコードが必要になります。

※購入方法によってチケット代金以外に別途手数料（システム利用料、店頭引取利用料、発券手数料、ほか）がかかる場合がございます。詳細はチケットぴあのウェブサイトをご参照ください。

<http://t.pia.jp/guide/charge.jsp>（インターネット） | <http://t.pia.jp/guide/orderbyphone.jsp#charge>（電話）

<http://t.pia.jp/guide/retail.jsp>（店頭） | <http://t.pia.jp/guide/delivery.jsp>（インターネットご予約の場合のチケット引取方法）

上映【Pコード：763-312】

（東京都写真美術館1Fホール／自由席／入場整理番号付／各回定員入替／190名／15分前開場）

□ 1 回券（日時指定）…………… ¥ 500（前売） ¥ 1,000（当日）

スペシャル上映【Pコード：763-315】

（東京都写真美術館1Fホール／自由席／入場整理番号付／各回定員入替／190名／15分前開場）

□ 6. 三宅唱《ワイルドツアー》《無言日記2018》…… ¥ 800（前売） ¥ 1,300（当日）

□ 13. Another World：大野松雄上映＋スペシャルライブ…… ¥ 2,500（前売） ¥ 3,000（当日）

□ 14. 赤ちゃんも参加できる上映会《キートンの探偵学入門》…… ¥ 350（前売） ¥ 600（当日）

※上映プログラム14について、席が必要な場合はチケットが必要です。保護者1名につき1名まで膝上無料。

シンポジウム【Pコード：763-313】

（東京都写真美術館1Fホール／自由席／入場整理番号付／190名／15分前開場）

□ A. トランスポジションという術をめぐる…… ¥ 350（前売） ¥ 600（当日）

日仏会館シンポジウム【Pコード：763-314】

（日仏会館ホール／自由席／入場整理番号付／110 名／15分前開場）

□ B. [日仏会館共催企画] クリス・マルケルのトランスポジション…… ¥ 350（前売） ¥ 600（当日）

ライブ・イベント【Pコード：763-316】

（ザ・ガーデンルーム／自由席／入場整理番号付／150名／30 分前開場）

曽我大穂×小金沢健人 special guest スズキタカユキ ライブ・パフォーマンス

□ C. 2月22日（金）…… ¥ 1,500（前売） ¥ 2,000（当日）

□ D. 2月23日（土）…… ¥ 1,500（前売） ¥ 2,000（当日）

こども映画教室事前申込方法

ワークショップご参加の申込みは、下記QRコードの「こども映画教室お申込みページ」から受付いたします。事前申込みの上、チケット代金は東京都写真美術館1Fホール受付にて当日清算となります。

上映関連企画・小学生向けワークショップ

（事前申込制／先着順／15名）

□ 15. こども映画教室シネクラブ@恵比寿映像祭 2019…… ¥ 1,500（事前申込・当日清算）



ガイドツアー |

① フェスティバルの全体像を掴もうツアー [90分/日本語]

[会場] 東京都写真美術館全フロア → センター広場 → 日仏会館ギャラリー

[ナビゲーター] NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]

[日時] 2月11日(月・祝) 15:00-16:30 | 2月17日(日) 11:30-13:00 *17日のみ手話通訳あり

② やさしい日本語で巡るガイドツアー [90分/日本語・英語要約あり]

[会場] 東京都写真美術館全フロア → センター広場

[ナビゲーター] 臼井隆志 (ワークショップデザイナー)

[日時] 2月17日(日) 15:00-16:30 | 2月24日(日) 11:30-13:00

③ 異文化・視点のトランスポジションを巡るガイドツアー [60分/日本語]

[会場] 東京都写真美術館全フロア → センター広場

[ナビゲーター] 毛利嘉孝 (社会学者、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授)

[日時] 2月20日(水) 18:30-19:30

参加方法

- ・参加無料/各回定員15名/整理券配布
- ・整理券はガイドツアー実施日の午前10時から東京都写真美術館1F総合受付にて当日分を配布します。
- ・開始時間の5分前までに、東京都写真美術館1F総合受付横のガイドツアー集合同所にお集まりください。

本会場マップ |

東京都写真美術館 Tokyo Photographic Art Museum

● A 3F・2F・B1F 展示室

● B 1F ホール

● C 2F ロビー

● D 1F スタジオ

日仏会館 Maison franco-japonaise

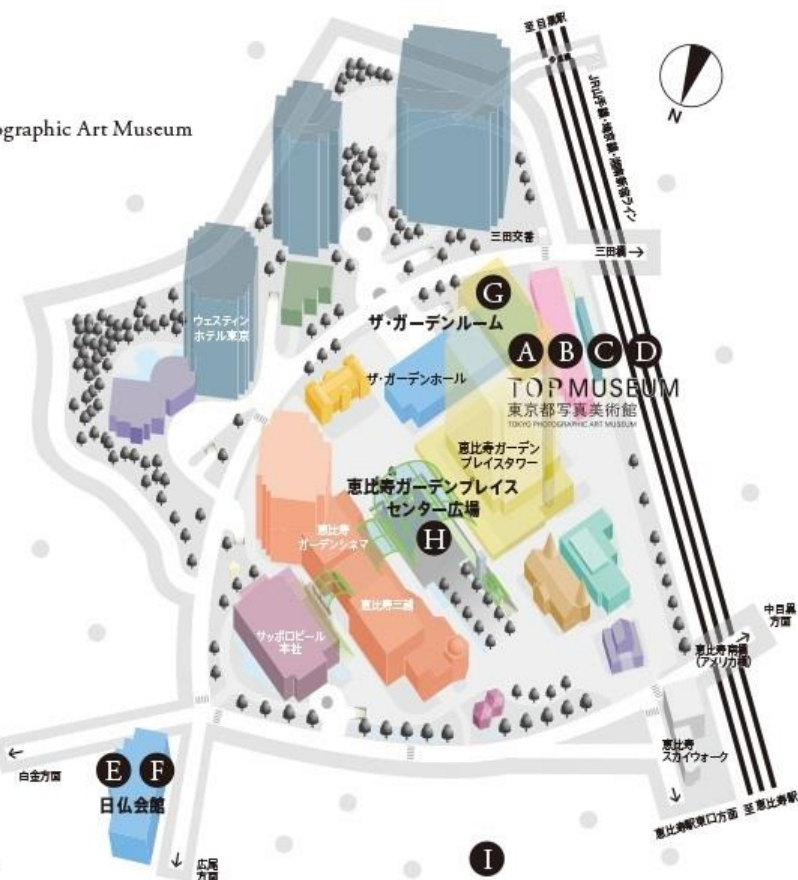
● E ギャラリー

● F ホール

● G ザ・ガーデンルーム
The Garden Room

● H 恵比寿ガーデンプレイス
センター広場
Center Square of Yebisu Garden Place

● I 恵比寿地域文化施設
およびギャラリーなど
Related cultural facilities, galleries, etc.



【恵比寿映像祭に関するお問合せ】

※ 報道・媒体関係者様のお問合せに限らせていただきます。

恵比寿映像祭担当（東京都写真美術館）：柳生（やぎゅう）、印牧（いんまき）

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

電話：03-3280-0076／ファクス：03-3280-0033／E-mail：yebizo_press@topmuseum.jp

【プレスリリース/広報用画像/ご取材に関するお問合せ】

恵比寿映像祭プレスコンタクト担当

【展示など上映以外】TMPRESS：平（たいら）

電話：090-1149-1111

ファクス：03-3468-8367／E-mail: info@tmpress.jp

【上映】プレイタイム：斉藤（さいとう）

電話：080-3732-6809

ファクス：03-6781-3101／E-mail: yosaito9@gmail.com

※ 本リリース内で使用している写真を広報用画像としてご用意しております。

ご希望のプレスの方は、①ご希望画像の作品名 ②貴媒体名 ③掲載予定時期

を表記のうえ、上記のプレス担当者までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

【第11回恵比寿映像祭 公式ウェブサイト】

第11回恵比寿映像祭「トランスポジション 変わる術」の詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。

www.yebizo.com

※ 出品作品および出品作家など内容については変更する場合があります。予めご了承ください。

恵比寿
映像祭